

事業報告書

令和2年度

社会福祉法人 柏寿会
福光園グループホーム

フクちゃんハウス

事業所番号 0370900573

〒 021-0901

一関市真柴字岩ノ沢91-19

TEL 0191-31-2500

FAX 0191-31-2501

1 沿革

社会福祉法人柏寿会が平成15年度施設整備事業により、利用定員9名・常勤職員9名の体制で事業を開始。施設併設型として、特別養護老人ホーム福光園アネックス・デイサービス・福光園居宅介護支援センター・福光園在宅介護支援センターが併設されている。

2 事業の目的

日常生活を通じて、入居者個々の機能を活かし、その人らしさを引出し、気づきの大切さを共有し、共同生活としての意図を理解しながら安心して暮らせる場の提供を支援する。思いの尊重を生活支援に取り入れ、身体表現へと繋げられるよう支援する。思いやり、感謝、笑顔を大切に相互の協力者として支援し、家族、地域の方々と共に支え合い、明るい生活の場を築いていく。

3 本年度の事業実施内容

入居者個々の思い、気づきを大切にし、その人らしく生活して頂く為のプロセスを構築すると共に、機能活用から、自信、喜びを身体表現へと繋げる支援と共に、入居者個々の思いから、その人らしさを大切に安心した生活が送れるよう支援する。又、家族、地域の方々と協力、助け合いから、人と人との繋がり、関係性を大切にすると共に、生活、精神的安定が図れるようケアの提供に努める。

- ・入居者個々の分析とニーズを把握し、個別ケア計画を作成し実施。※毎月評価行っている。
- ・提供したサービスの評価・見直しを実施し今後のサービスへの同意を求めている。※今年度はコロナ禍の為、家族出席見合わせる。
- ・運営推進会議の実施。(2ヶ月毎、年6回実施)※行政、地域、家族、入居者、職員での構成。
→今年度は1回のみ開催し、5回は書面開催としている。
- ・日々の個人の健康チェック・投薬・通院等による健康管理の実施。
- ・入居者家族への報告・連絡・相談の実施。
- ・毎月(フクちゃんハウスたより)発行にあたり、入居者の生活状況についての報告。
- ・職員会議で入居者個々の現状報告・確認とサービスの質の向上に向けた取り組み方法の実施。
- ・入居者の金銭管理を帳簿にて管理し、各家族への報告。(毎月の帳簿写し、領収証の郵送)
- ・サービス情報の公表制度の実施。(本年度は書類提出のみ)
- ・外部研修参加。ホーム内研修、自己研鑽、委員会研修、職員会議の実施。※質の向上に繋げている。
- ・避難訓練実施。年1回消防署の立ち合い実施。※指摘事項についても職員個々が気をつけながら対応に繋げている。
- ・かかりつけ医への相談実施。
- ・入居者誕生会の実施。 ※ホーム内でお祝いしている。
- ・敬老会。(※家族協賛で実施していたが、今年度はホームで職員のみで実施)
- ・家族との交流行事の実施。※年4回計画していたがコロナ禍の為、今年度は行わず。
- ・外部評価受査実施。調査員2名来所。報告については書面で家族様へお渡ししている。
- ・ボランティアによる慰問。※今年度中止している。
- ・雑巾寄贈。(一関市立南小学校へ) 余暇活動の一環としての取り組み。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う、物品の準備、シミュレーションの実施。※対応困難とならない為にも。
- ・外出出来ない為、入居者個々の特性を活かした個別支援の実施。
- 機能訓練等から視野を広げる為の支援。※生活維持に繋げる為。

4 目標に対する評価 (処遇)

- ① 空床を最小限にとどめ、年間稼働率96%以上を目指す。※延べ人数3154名以上。

※ 体調管理の重要性、緊急時の対応、入退院を通じて医師、家族との連携を密にする。

→ 今年度7名の入居者の入れ替わりがありました。今までにない位の異動があり、新しい入居者が決まるまでに相当を要する事もありました。他施設への入所4名、長期入院2名、死亡1名となりました。体調の変化を見逃さず、今の事がどうかという事を職員同士での共有を図り支援してきました。結果としてすぐに異変に気づいたり、ふとした事が時と共に生活に支障をきたす事に繋がらない為にも、安心して生活して頂けるよう気づきを大切に支援してきました。今後も情報の共有化を図り支援していく事とし、早期に繋ぐ事で発信出来る体制を更に整え今後も支援して行き来年稼働率96.7%と目標を若干上りましたが、家族、医師との連携を更に継続化し勤めて参ります。

- ② 「ここにいて良かった」と思って頂けるように第二の我が家として生活して頂く。(利用者としての声…)

※笑顔、助け合い、不安のない楽しい生活支援。※個別支援(趣味活動…毎日)外出(誕生日、ドライブ…年2)

→ 入居者の入れ替わりが多くなったものの、上手く共同生活に入れている。帰りたい思いはあるものの、ここでの生活が第二の我が家という状況になりつつある。不安で入居し、生活に馴染むまでの時間が本人にとっての寂しさであたりしていたが、日々生活していく中でここで良かったという声に変化している。お互いに助け合い、支え合いながら生活されている。個別支援について、今できる事、そして機能低下防止に繋げる為、リハビリを継続しながら生活を継続しています。出かける事を自粛し生活がつまらないと思われないように工夫しながら支援して来ましたが、

その人らしく、個性を大切に視野を広く持つ事で見える範囲が拡大しそこから自身としての言葉がどういう風な言葉として現れてくるかという事から分析しながら生活維持に繋げてきました。入居者の声が大切と感じるならばその方に向かって一歩踏み出せるような生活支援を今後も継続して参ります。

- ③ 家族と過ごす事で、お互いの安心感を作り上げていく。※家族を交えて年3回行事を行う

→ 家族様との交流を大切にしています。面会での一時の時間を過ごす事の大切さ、行事を踏まえ一緒に団欒出来る時間を大切にしていますが、コロナ禍の為、年間行事全て中止とし安全配慮に努めてきました。面会も一時的に解除したりと少しでも会える時間を設けようと配慮しました。この状況が早く収束に向かい安心して家族様と会える時間を築けていければと思います。また、くるねが明日の生活の力となれるようお願いいたします。

5 生活目標 (利用者の声)

- 「安心の毎日」「楽しい生活」を送る。

□ 今のままで健康で過ごしたい。(利用者の変化を見逃さない)

→ 生活している中で、自分の体調について話してくれたり、表情等から察知し本人への不安を仰ぐ事なく対応しています。今日も何もなく終わったねが皆さんにとっての安心した言葉となっています。

□ 皆と楽しく家族のように生活したい。(思っている事を言える、やりたい事をやれる、個々のペースに合わせて一緒に楽しく不安のない日々を)

→ 毎日皆さんと楽しく生活しており、笑顔が絶えない位暖かいアットホーム感が滲み出ています。「今日は何する」が合い言葉となり1日の時間を自分達が工夫し作っています。話す事、助け合う事が入居者様の中で起き上がっている

□ 家族に会いたい。※面会で会える楽しみ。(お互いの報告、連絡、相談、生活状況について)

→ コロナ禍で面会制限する事が殆どであり、解除すると面会に来て頂き、一時の時間がとても暖かみある時間となりました。お互いが安心した様子で、また、来るねという言葉がとても入居者様にとって安心する言葉となっていました。行事も開催出来ず、ただただホームでの生活であり、窮屈な生活ではありましたが、報告、相談、お便りを通じて家も少しは安心して頂けたものと思われまます。※普通の生活がしたいという思いが早く迎えられますように祈るばかり

6 ま と め

事業開始17年が経過しました。母体施設・在宅事業所等の御協力のもと、過ごして参りました。

家庭的な環境の中で、入居者一人ひとりの特性、思いをサポートし、出来るだけ本人らしい生活に状況で生活支援を行って参りました。

本年度、7名の退去者がありました。長期入院2名、施設入所4名、死亡退去1名でした。今までにない入居者入れ替わりがありました。待機者が少ない中、入居者様の確保に時間を要する事が多々ありました。空床を出だけ作らない為にも、入居者様の体調管理も万全に行ってきました。又、家族、医療との連携も図りつつ必要で通院等行ってきました。家族様の思いもあり、ホームとして最大限出来る所までお世話させて頂いたり、相対りしながら本人にとって不安、負担を与えないよう配慮して参りました。稼働率も退去者が多かったのにも関わらず目標数値は達成しましたが、更なる努力が今後も必要とされる。コロナ禍の中で、まずは入居者様の安全、に努めながら生活支援を行い、不安のないよう努めて参りました。生活に不自由さが出来ないように出来る事めながら生活が楽しいと思っ頂けるよう工夫、改善しながら支援して来ました。入居者様の声(生活目標)をにしながら日々の生活の中で見え隠れする不安であったり、伝えたい気持ちを上手く言葉として話せる事で、互に繋がっています。共に支え合い、助け合いを入居者様同士で築き上げて来ています。とても暖かみのあるホームとなっています。その人らしい生活をどのように作っていくかは本人の姿を大切に作る事で作られていける事見えてきています。出来る事を行う事から視野が広がり周囲を見る事が多くなり、それが「自分にも」という思い切り替わり刺激ある生活となっています。職員との関わりの中で、安心と、信頼が必須とされ、自分としてどうするか、自分をどう思っ頂けているのかという事も考えながら支援させて頂いています。話す事、聞く事を大切にし、今、本人にとって何が必要か、何を求めているのかという事も日々の生活の中で観察し支援しています。その事で、見えない事、気づけない事が少しの事でも、些細な事でも見えそれが生活障害とならないよう支援しています。共に支える環境が入居者様にとって生活する上で大切な事とされる事から更なる意識共有が必要とされる。今後も、職員のケアに対する意識、知識を高め、入居者様の第二の我が家として支え合いながらその人らしい生活を大切に支援して参ります。

利用者動向

利用者	性別	年齢	要介護度		入居日	通院	薬費	往診	理容	外出 外泊	面会 者数	退去日	備考
			更新前	更新後									
A・Y	女	89	IV	IV	H. 29 9 29	8	1	8	6		7		
H・C	女	88	IV	IV	H. 30 8 15	23	3	9	6		24		
Y・S	女	83	II	II	H. 30 9 28	18	4	4	6	2	8		
I・O	女	80	III	III	R. 2 7 3	18		7	5	1	16		
T・O	女	88	II	II	R. 2 8 6	14	1		4		0		
A・S	女	83	III	III	R. 2 10 3	5		5	1	3	11		
A・C	女	88	II	II	R. 2 12 28	2		2	2	2	7		
T・S	女	89	II	II	R. 3 2 7	2		1	1	2	4		
A・S	女	72	V	V	H. 24 2 15	8		2	1	1	21	R. 2 6 30	長期入院の為
T・S	女	92	IV	IV	H. 30 1 5	4		3	2	2	2	R. 2 8 4	福光園アネックス入所
K・S	女	87	IV	IV	H. 27 5 22	3		5	3		3	R. 2 9 29	福光園アネックス入所
S・U	女	80	IV	IV	H. 27 11 17	5	2	6	2		2	R. 2 12 8	長期入院の為
K・A	女	85	III	IV	R. 2 1 7	12	1	5	5		5	R. 3 1 28	他施設入所
K・S	女	87	IV	IV	H. 28 10 29	12		6	5	7	13	R. 3 3 9	他施設入所
N・S	女	85	II	II	R. 3 3 21	1			1			R. 3 3 31	死亡により
平均			3.8	2.8		計 135	12	63	49	20	123		

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ※ 職員・家族様が対応した件数

月別利用者人数

	令和2年									令和3年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入居者数	9	9	9	9	10	9	9	9	10	9	9	10	111
延人数	270	263	252	277	278	269	277	249	252	276	246	268	3177
月人数	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3285
稼働率	100%	94.30%	93.30%	99.30%	99.60%	99.60%	99.30%	92.20%	90.30%	98.90%	97.60%	96.10%	96.70%

行事報告

年 月 日						行 事 内 容	
令和	2	年	5	月	10	日	母の日
令和	2	年	5	月	14	日	第1回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止。
令和	2	年	6	月	9	日	避難訓練(昼間想定)
令和	2	年	6	月	21	日	誕生会
令和	2	年	7	月	5	日	誕生会
令和	2	年	7	月	9	日	第2回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止。
令和	2	年	7	月	17	日	外部評価受査
令和	2	年	8	月	18	日	夏祭り
令和	2	年	9	月	4	日	誕生会
令和	2	年	9	月	10	日	第3回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止。
令和	2	年	9	月	10	日	敬老会(フクちゃんハウス内にて)※職員、入居者のみにて実施。
令和	2	年	10	月	2	日	避難訓練(夜間想定)
令和	2	年	10	月	6	日	誕生会
令和	2	年	10	月	10	日	インフルエンザ予防接種 ※アネックスにて 入居者9名接種
令和	2	年	11	月	6	日	雑巾寄贈(一関市立南小学校) コロナの為職員代表にて 100枚寄贈 岩手日日取材あり。
令和	2	年	11	月	20	日	第四回運営推進会議 参加者5名

年 月 日							行 事 内 容
令和	2	年	11	月	22	日	芋の子会 ※ホーム内にて
令和	2	年	12	月	6	日	誕生会
令和	2	年	12	月	24	日	クリスマス会
令和	2	年	12	月	27	日	誕生会
令和	3	年	1	月	1	日	お正月
令和	3	年	1	月	21	日	第五回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止。
令和	3	年	1	月	29	日	総合避難訓練 ※消防署、文林商会立ち会いの基実施。
令和	3	年	2	月	2	日	節分
令和	3	年	3	月	3	日	ひな祭り
令和	3	年	3	月	11	日	第六回運営推進会議 新型コロナウイルス感染拡大に尽き中止。
令和	3	年	3	月	23	日	誕生会

職員研修報告

(外 部)

年 月 日	研 修 会 名 等
令和 2 年 7 月 29 日	新型コロナウイルス感染症対策研修会(一関文化センター)
令和 2 年 9 月 24 日	令和2年度介護サービス事業所等集団指導会(一関文化センター)
令和 3 年 3 月 10 日	新型コロナワクチン接種説明会(一関保健センター)

(内 部)

グループホーム内において以下のような勉強会を行っている

◎ 各マニュアル一覧の見直しについて

- | | |
|-------------|---------------|
| ・ 食事マニュアル | ・ 感染症マニュアル |
| ・ 入浴マニュアル | ・ 事故・緊急時マニュアル |
| ・ 排泄マニュアル | ・ 接遇マニュアル |
| ・ 食中毒マニュアル | ・ 緊急マニュアル |
| ・ 口腔ケアマニュアル | ・ 災害マニュアル |

◎ 身体拘束廃止委員会 年4回研修実施。※運営推進会議の中で1回研修実施。

◎ ケアカンファレンス実施(家族様を交えて行っていたが今年度はコロナ禍の為実施せず) ※個別には実施している。

◎ ケアプラン個人月別評価について(毎月職員会議時実施)

◎ 認知症ケアに関わる勉強会(職員会議時実施)

◎ 研修委員会研修(4回実施)

◎ 保健委員会研修(5回実施)

◎ 保健委員会として年2回カロリー計算実施し法人栄養士より指導、助言頂いている。

◎ 自己研鑽(毎月) ※職員会議を利用し実施。※資料は家族様へも提供している。

◎ やすらぎの家との合同委員会(事故、ヒヤリハット・・・年3回) ※今年度で終了とする。

(内部研修)

- 1 柏寿会理念、事業所基本理念、認知症の人を人として見る、最低限生きるのに必要、理性的、新型コロナウイルスについて 4/24
- 2 パーソンフード、リスクってなんだろう、介護保険制度で理解すべき事、本人が安心出来る生活、存在感、身体拘束廃止研修会 5/26
- 3 接遇マナー、高齢者のうつ病と認知症の見分け、意識レベルの確認、おだやかな介護の為の心掛け、細菌とウイルスの違いについて 6/24
- 4 糖尿病、接遇マナーチェック表、必要な視点、血中濃度、年齢による物忘れと認知症について 7/25
- 5 行動・症状と実施はされる主な身体拘束、脱水症状、酸素飽和度、認知症のイメージをしっかりと持つ、認知症チェックリストについて 8/25
- 6 心肥大、歩く時の介助方法、GHIにおける法令遵守、高齢者虐待防止法、認知症の分類、あれ？これ認知症、肩痛、腰痛チェックシートについて 9/25

- 7 認知症疾患、認知症症状、自立神経の乱れ、骨粗鬆症、身体拘束廃止研修会 10/26
- 8 感染リスクが高まる「5つの場面」、新型コロナウイルス感染症について 11/26
- 9 新型コロナウイルス感染症、ヒートショックについて 12/24
- 10 認知症症状、基礎代謝について 1/25
- 11 認知症の症状、肺炎、皮膚の痒みについて 2/24
- 12 認知症症状、腎臓病の症状、今日から始める減塩、低塩習慣について 3/25

(訪問)

- 1 外部評価調査員 2名 7/17
- 2 令和2年度実地指導監査 11/24 一関地区広域行政組合介護保険課職員2名

(法人内研修、会議)

- 1 法人全体会議 4/27、10/26(コロナウイルス感染拡大防止の為中止)
- 2 苦情解決委員会 8/20、11/26、3/4